

各 位

2023年3月15日
国立大学法人 東京農工大学

令和5年度東京農工大学一般選抜（後期日程）における 入試ミスについて

令和5年3月12日（日）に実施しました東京農工大学一般選抜（後期日程）の「物理」の問題に出題ミス、また、この問題の訂正内容を受験生へ周知する際に、試験実施上のミスがありましたので、下記のとおり公表します。

受験者の皆様をはじめ関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をお掛けしたことを心よりお詫び申し上げます。今後、このようなことがないように、再発防止に万全を期する所存でございます。

なお、令和5年度東京農工大学一般選抜（後期日程）の合格発表は、予定どおり3月22日（水）に行います。

記

1. ミスの内容

【出題ミス】

- (1) 本学学内における点検により、大問 $\boxed{3}$ 、問い〔1〕(1)について、問題文に誤りがあることが判明した。選択肢の設定が不適切であり、正答が一通りでない設問となった。

【試験実施上のミス】

- (2) 上記問題文の訂正を各試験室に周知する際に、①訂正内容の周知が不十分なまま正規の時間で試験を終了した試験室、及び、②周知は完了したが、結果として正規時間より試験時間（最大2分程度）が延長された試験室が発生した。

2. 今後の対応策

【出題ミス】

大問 $\boxed{3}$ 、問い〔1〕(1)について、全員を正解とします。

【試験実施上のミス】

正規の時間で試験を終了した受験生、正規の時間より長い試験時間となった受験生のいずれにも不利益が生じないように、

- ① 正規の時間で試験を終了した試験室の受験生については、通常どおりに、正規の募集人員の枠で合否判定を行います。
- ② 正規の時間より長い試験時間となった試験室の受験生については、①の受験生と同一の基準で、正規の募集人員の枠外で合否判定を行います。

3. 対象となる受験者数

【出題ミス】

- (1) 工学部生命工学科、応用化学科、化学物理工学科の「物理」選択志願者
(2) 工学部生体医用システム工学科、機械システム工学科、知能情報システム工学科の志願者

合計 511名

【試験実施上のミス】

正規の時間より長い試験時間となった「6番試験室」、「7番試験室」、「13番試験室」の受験生合計87名について、正規の募集人員の枠外での合否判定を行います。

添付資料 令和5年度東京農工大学一般選抜学生募集要項抜粋
当該試験問題抜粋

◆ 本件に関する問い合わせ◆

東京農工大学教学支援部入試企画課

TEL : 042-367-5543 / FAX : 042-367-5585

令和5年度東京農工大学一般選抜学生募集要項抜粋

令和5年度入学試験日程（一般選抜）

日程 事項	前期日程	後期日程
出願期間	令和5年1月23日（月）～令和5年2月3日（金）	
試験期日	2月25日（土）	3月12日（日）
合格発表	3月8日（水）	3月22日（水）
入学手続期限	3月15日（水）	3月26日（日）

入学定員および募集人員

〔農学部〕

学 科 名	入学定員	募 集 人 員						
		前期日程 試 験	後期日程 試 験	ゼミナール 入 試	学校推薦型 選 抜	学校推薦型 選 抜 (産業動物獣 医師養成枠)	社 会 人 入 試	私費外国人 留学生入試
生物生産学科	57人	38人	13人		6人		若干名	若干名
応用生物科学科	71人	47人	16人		8人		若干名	若干名
環境資源科学科	61人	40人	12人	3人	6人		若干名	若干名
地域生態システム 学 科	76人	53人	15人		8人		若干名	若干名
共同獣医学科	35人	25人	6人		4人	若干名 (最大2名 程度)		若干名
学 部 計	300人	203人	62人	3人	32人			

- (注) 1. 前期日程の募集人員には、学校推薦型選抜（産業動物獣医師養成枠）、社会人入試および私費外国人留学生入試の「若干名」を含みます。ただし、選抜の結果、合格者なしとなる場合があります。
2. ゼミナール入試および学校推薦型選抜の合格者数が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は前期日程の募集人員に加えます。

〔工学部〕

学 科 名	入学定員	募 集 人 員				
		前期日程 試 験	後期日程 試 験	SAIL入試	学校推薦型 選 抜	私費外国人 留学生入試
生 命 工 学 科	81人	42人	25人	7人	7人	若干名
生体医用システム工学科	56人	28人	18人	6人	4人	若干名
応 用 化 学 科	81人	42人	36人		3人	若干名
化学物理工学科	81人	44人	29人	4人	4人	若干名
機械システム工学科	102人	52人	37人	5人	8人	若干名
知能情報システム工学科	120人	64人	42人	7人	7人	若干名
学 部 計	521人	272人	187人	29人	33人	

- (注) 1. 前期日程の募集人員には私費外国人留学生入試の「若干名」を含みます。ただし、選抜の結果、合格者なしとなる場合があります。
2. SAIL入試および学校推薦型選抜の合格者数が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は前期日程の募集人員に加えます。

後期日程

教科・科目

学 科 名	出題教科・科目名		出題範囲・選択方法等
全 学 科	外国語 (英語)	コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 英語会話	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ、英語会話の各科目に共通する事項をあわせて英語として出題する。
	理 科	物 理	物理基礎、物理の全範囲から出題する。
		化 学	化学基礎、化学の全範囲から出題する。
		生 命 工 学 科	物理、化学から1科目選択し、出願時に届けた科目とする。
生体医用システム工学科		物理のみ	
数 学	数 学 Ⅰ 数 学 Ⅱ 数 学 Ⅲ 数 学 A 数 学 B	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは、全範囲から出題する。 数学Bの出題範囲は、「数列、ベクトル」の2項目とする。	
	応 用 化 学 科 化 学 物 理 工 学 科	物理、化学から1科目選択し、出願時に届けた科目とする。	
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科 知 能 情 報 シ ス テ ム 工 学 科	物理のみ	

注 意

1. 志願者が、本学の学部・学科が指定した「個別学力検査で受験を課す教科・科目」を1科目でも受験していなかった場合、合否判定の対象となりません。また、それ以後の科目を受験することはできません。
2. 理科の指定科目を間違えて出願した場合は、不備となり受験ができなくなりますので、WEB出願サイト入力時には十分注意してください。

配 点

学 科 名	項 目	国 語	地 理 歴 史 と 公 民	数 学	理 科	外 国 語	合 計
全 学 科	大学入学共通テスト	100 ^{注1)}	50 ^{注1・2)}	200	200	100 ^{注3)}	650
	個別学力検査			150	300 ^{注4)}	200 ^{英語}	650
	計	100	50	350	500	300	1,300

注1) 「国語」は100点満点、「地理歴史と公民」は50点満点に換算します。

注2) 「地理歴史と公民」で2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

注3) 「外国語」は100点満点とし、「英語」を選択した場合は、リーディングを65点、リスニングを35点とします。なお、リスニングの免除を大学入試センターに申請し、許可された者(以下「リスニング免除者」という。)については、リーディングのみの得点で100点満点とします。また、リスニング免除者を除き、リスニングを受験しなかった場合は、「英語」を受験しなかった者として扱います。

注4) 「理科」の「物理」および「化学」は、両科目間で公平を期すために得点調整を行うことがあります。

試 験

試 験 日 時

【前期日程】 令和5年2月25日（土）

学 部	学 科	時 間 ・ 教 科		
農学部	全 学 科	9 : 30～12 : 10	13 : 40～14 : 40	15 : 55～17 : 55
工学部		理 科 (160分) <small>注</small>	英 語 (60分)	数 学 (120分)

注) 前期日程の「理科」は、1試験時間中(160分)に出願時に選択した2科目を解答します。

【後期日程】 令和5年3月12日（日）

学 部	学 科	時 間 ・ 教 科		
農学部	全 学 科	9 : 30～11 : 10	/	/
		英 語 (100分)		
工学部	全 学 科	9 : 30～11 : 10	12 : 40～14 : 40	16 : 10～17 : 10
		英 語 (100分)	理 科 (120分)	数 学 (60分)

受 験 票

- (1) 試験当日は、「令和5年度東京農工大学の受験票」と「令和5年度大学入学共通テストの受験票」の2種類を必ず持参してください。
また、休憩時間中に試験場の外に出る場合は、2種類の受験票を必ず携帯してください。
- (2) 受験票を持参しなかった場合は、試験開始前に再発行の手続が必要になります。
特に「大学入学共通テストの受験票」を忘れる受験者が多くいますが、この手続に時間がかかり、手続中に試験が始まってしまうこともありますので、受験票は2種類とも忘れずに持参してください。
- (3) これらの受験票は入学手続にも必要となりますので、受験後も大切に保管しておいてください。

(抜 粋)

令和 5 年度後期日程試験問題

物 理 (K)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子は、15 ページあります。
3. 問題は **1** ~ **3** の 3 題です。全問解答しなさい。
4. 試験開始後に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁がないことを確認し、ある場合には手をあげて監督者に知らせなさい。
5. 問題冊子の針金とじは、はずしてもかまいません。問題冊子の余白は下書き、計算用に使用してもかまいません。
6. 解答用紙(別紙)は 3 枚(I い ~ I は)です。
7. 各解答用紙の指定欄に、受験番号を記入しなさい。
8. 解答は、必ず解答用紙の指定箇所に記入しなさい。
9. 解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

3

理想気体の膨張と、状態変化とに関する以下の問いに答えよ。

- [1] 滑らかに動くシリンダー内に理想気体 n [mol] を入れた状態 A (圧力 P_1 , 体積 V_1) から、断熱過程, 等圧過程, 等温過程のいずれかにより, 気体の体積を V_2 まで膨張させた。気体定数 R , 定積モル熱容量 (定積モル比熱) C_V , 定圧モル熱容量 (定圧モル比熱) C_P とする。

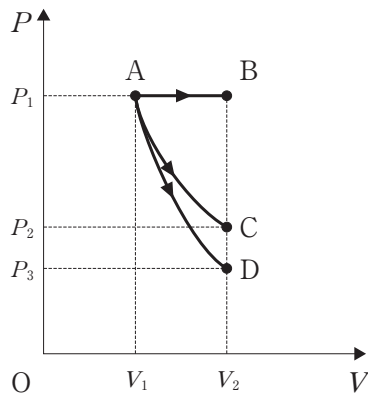


図 3—1

- (1) 以下の空欄(い)~(ほ)に最も適するものを以下の選択肢の中から答えよ。

【解答の選択肢： A → B, A → C, A → D, 該当無し】

図 3—1 に示す P - V 図における $A \rightarrow B$, $A \rightarrow C$, $A \rightarrow D$ の中で、断熱過程に相当するのは を結ぶ過程, 等圧過程に相当するのは を結ぶ過程, 等温過程に相当するのは を結ぶ過程である。これら 3 つの過程の中で、気体の温度が下降する過程は であり、気体の温度が上昇する過程は である。

- (2) 断熱膨張過程で気体が外部に行った仕事を W_a とする。この過程での内部エネルギー変化 ΔU_a を、 W_a を用いて答えよ。
- (3) 等圧膨張過程で気体が外部に行った仕事 W_b を、図 3—1 中の P_1 , P_2 , P_3 , V_1 , V_2 , 並びに、 R , C_V , C_P の中から必要なものを用いて答えよ。